

令和6年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年、明けまして、おめでとうございます。

新しい年を、皆さんも新たな気持ちで、迎えられたことと思います。

まずは、1月1日発災の「令和6年能登半島地震」により、今朝の時点で70人以上の方が亡くなられたとの報道に接したところです。

亡くなられた方にお悔やみを申し上げるとともに、お怪我をされた方、また建物被害にあわれた方に対し、お見舞い申し上げます。

職員の皆さんのご親戚や友人知人は、大丈夫だったでしょうか。

なお、国より緊急消防援助隊の派遣要請を受け、京都市消防局から90人、府内合計144人の派遣。うち、1日の時点で相楽中部消防組合からは災害対応の後方支援として2人の派遣を行ったとの報告を受けました。

それでは、改めまして、去年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、ようやくコロナ禍前の日常に戻りつつある一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東での紛争などにより、原油価格が上昇し、物価高騰が続くなど日常生活へ影響が長引いています。

また、地球沸騰化とも呼ばれるほど、世界の平均気温が観測史上最高レベルとなっており、これによる異常気象の影響により、各地で豪雨災害の発生に加え、農作物の品質悪化も懸念されています。

本市においても、昨年6月2日の大雨及び8月14日～16日の台風第7号の接近に伴い、避難所を開設する等の対応をしたほか、人命に関わるような大きな被害には至りませんでした。が、がけ等の崩落や倒木等の被害が発生しました。また、本市で作付けされた米や、野菜の発育にも影響が及んでい

ます。

職員の皆さんにおかれましては、世界の動きや 日本の中で起こっている様々な出来事を、本市での出来事として置き換えて、対策や対応をしっかりと考え、職員が一丸となって、助け合い、力を合わせて取り組んでいただきますようお願いいたします。

さて、本年は、木津川市第二次総合計画後期基本計画の策定年度でありますとともに、本市の更なる発展に向けたセカンドステージにあたり様々な施策を実行する年であると考えています。

国においては、昨年末に「子ども未来戦略」が取り纏められ、「若い世代の所得を増やす」「社会全体の構造・意識を変える」「すべてのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」の3つの基本理念に基づき、児童手当の拡充等、様々な施策を予定しています。

本市においても、昨年、子育て支援医療費助成制度の対象拡大や教育支援センターの強化など、取組を進めていますが、引き続き安心して子育てが出来るよう施策を進めていただきますようお願いいたします。

また、令和4年4月には加茂地域が過疎地域に指定され、昨年には奈良交通株式会社から、市内の運行路線を大幅に縮小すると発表されました。

市民の皆様が生活に不自由なく、住み慣れた地域に住み続けていただくためには、職員の皆様による新しい発想で、木津川市のまちを一からデザインする気持ちで取組を進めていただきたいと思います。

本年の十二支は辰、干支では甲辰です。「甲」は、「まだ草木の種子が発芽していない状態」を、「辰」は、「草木が伸長し活力が旺盛な状態」を表し、この2つが組み合わさった本年は、「成功という芽が成長していき、姿を整え

ていく」ための年とも言えます。

結びにあたりまして、国際情勢は未だ不安定・不透明であり、災害の激甚化・頻繁化は予断を許さない状況ではありますが、皆さんにとりまして、今年一年が、健康で幸多い年となりますよう、そして、本市の更なる飛躍を祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。

令和6年1月4日

木津川市長 谷口 雄一